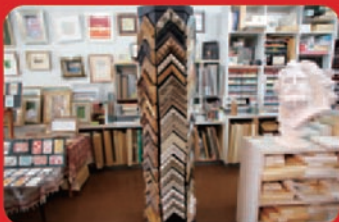


まだまだ  
あるある

# 浦和まちなかアート発見!

浦和の街中にはアートを感じられる場所がそこかしこに。昭和の面影残る裏門通り周辺にも、ユニークなアートスポットをいくつか発見することができる。ギャラリーやカフェ、画材店など、様々な視点からアートを楽しもう!



## 浦和艺术を支える老舗 コバルト画房

昭和28年に創業した老舗画材店。現在は画材販売のほか、銅版画工房と絵画教室を中心に運営を行っている。店内には一般の人が作品を展示できるギャラリースペースも。  
TEL048-822-4824 10:00-19:00  
月曜のみ休



旧中山道にぶつか  
るまでの約500m  
が「裏門通り」



## 昭和が香る昔ながらの喫茶店

### やじろべえ

この道38年のご夫婦が切り盛りする老舗珈琲店。時計の音がカチカチと鳴り響く静かで趣ある空間は、アートの余韻に浸るのにぴったり。オススメはオリジナルブレンドの源氏。  
TEL048-822-8151 11:00-18:00(土  
曜 15:00-18:00) 日曜・祝日休



## 目と舌で味わう京焼の魅力

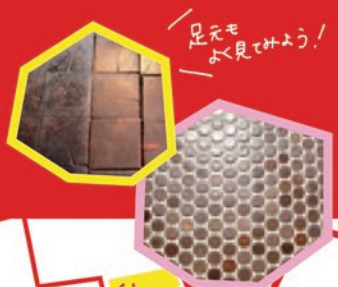
### 趣味の店 三本松

(浦和仲町店)

ギャラリーとカフェを兼ねた陶器店。店内には彩り鮮やかな京焼がずらり。カフェでは全てのメニューが京焼の器で提供される。美しい器でいただく甘味はおいしさも格別だ。  
TEL048-825-0527 11:00-17:00  
土・日曜休



ランチタイムを過ぎても  
¥1,050でコーヒーとデ  
ザート付きの軽食が食べ  
られます。



足元も  
よく見てみよう!



## ビビっときたら立ち止まってみよう!



1. まるでアラビアンリゾート?!を思わせるようなこの建物は、昭和46年に建てられた「さいたま市民会館うらわ(旧うらわ市民会館)」。写真は裏側から見た様子。
2. 浦和駅西口の抜け道「ナカギンザセブン」は、居酒屋やブティックなど様々な店が立ち並ぶ路地。商店街というよりは昭和レトロな「横丁」といった雰囲気。

# Urawa Art!



## お酒とともにアートに浸る

### ART SPACE 717

絵画を中心に、版画・彫刻・アンティーク等を扱うギャラリーショップ「ART SPACE 717」。ポップ「SALON 717」としても経営しており、芸術家や収集家たちの交流の場となっている。  
TEL048-834-5480 GALLERY 11:00~17:00  
不定休 / SALON 20:00~24:00 日曜休

## column

### 浦和は画家が多い?!

浦和が「アートの街」として大きく発展するきっかけとなったのは、大正12年の関東大震災。地震の被害が少なかったことと首都圏への利便性が注目され、震災以降多くの文化人が浦和へと移住した。そして、高田誠や寺内高次郎といった数々の優れた芸術家たちが活躍し、いつしか「鎌倉文士に浦和画家」と呼ばれるように。現在も、街中の至る所で昭和初期の芸術文化の薫りを感じることができる。